

元気・活気を実感できるまちづくりへ



新生香取市 平成19年度の予算決まる

一般会計、特別・企業会計
総額540億2,781万8千円
(対前年度比2.3%増)

3月市議会定例会(2月28日から開会)で平成19年度各会計予算案が原案可決されました。本予算は1市3町合併後、香取市として編成する初の年間予算です。このため、合併した後の新しいまちづくりをいかに進めるかが重要な課題となりました。本市は、少子高齢化の進展など、依然として厳しい状況にあることから、財政基盤の早期確立を目指し、歳出面において、さらなる経費の見直しを図っています。このようなか、従来の行政水準を維持することを基本とし、事業の見直しや、事務経費の圧縮などを徹底し、農業振興対策および小中学校施設の耐震補強など、継続的かつ具体的な取り組みを優先しつつ、重点施策への配分に留意した予算編成を行いました。

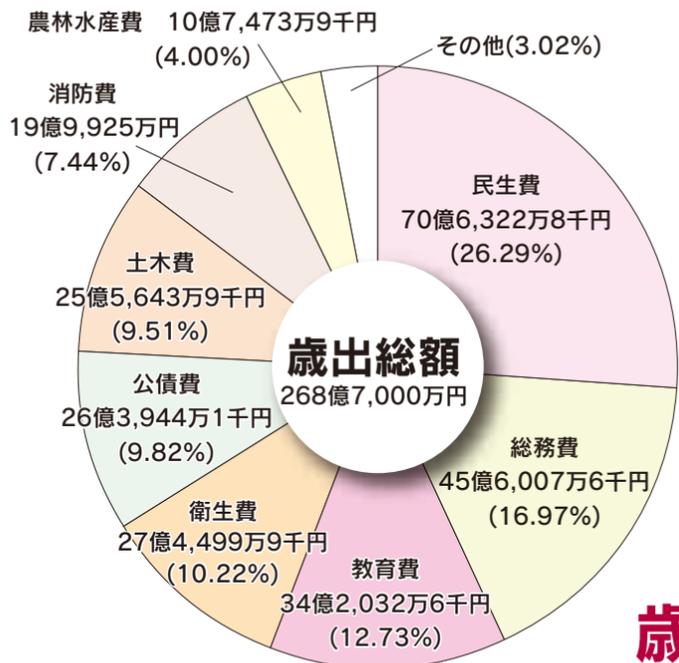
予算概要

一般会計予算額は、268億7千万円で、前年度予算と比べ、7億5千万円増加し、プラス2.9%となっています。

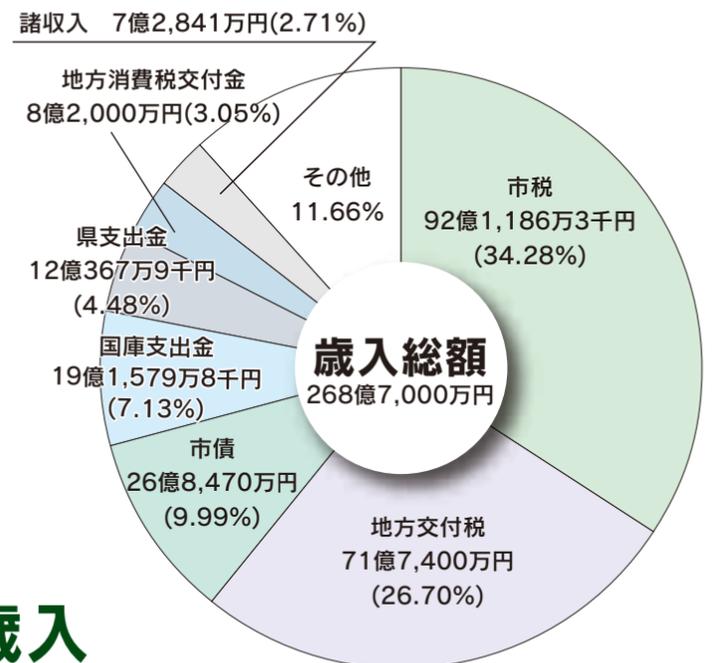
また、特別会計は全10会計で、236億209万8千5千円で、8億478万1千9千円増加し、プラス3.7%、公営企業会計は2会計で、35億368万3千3千円で、3億832万3千3千円減少し、マイナス9.8%となりました。

問い合わせ 財政課
(50)1207

一般会計予算の 歳入・歳出の内訳



歳出



歳入

- 民生費…障害者福祉、児童福祉、高齢者福祉、生活保護、福祉医療、国民年金などのためのお金
- 総務費…人事、企画、財政、徴税、戸籍、統計などの総務事務を行うためのお金
- 教育費…小中学校や生涯学習など教育・文化のためのお金
- 衛生費…健康づくり、廃棄物処理、公害対策などのためのお金
- 公債費…国・県や銀行などから借りたお金を返済するためのお金
- 土木費…道路、公園、住宅などの整備のためのお金
- 消防費…消防防災対策などのためのお金
- 農林水産費…農業・畜産・林業の振興のためのお金
- その他…議会費、商工費など

- 市税…市民税・固定資産税・軽自動車税などの税
- 地方交付税…財政規模などに応じて国から交付されるお金
- 市債…国・県や銀行などから借り入れるお金
- 国・県支出金…特定の事業など国・県から交付されるお金
- 地方消費税交付金…消費税の一部で県から交付されるお金
- その他…使用料・手数料・財産収入などのお金

市民1人あたりが負担する税金 総額10万5千円

市税は、市民税・固定資産税など合計92億1,186万3千円で、市民1人あたり、10万5千円になります。市が皆さんのために使うお金との差額は、国や県からの補助金や借入金(市債)などの財源でまかなわれます。

市民1人あたりに使われる市のお金 総額30万5千円

今年度の一般会計予算は、268億7千万円です。これを市民1人あたりに使うお金に換算すると、30万5千円になります。その内訳は次のとおりです。



(平成19年1月1日現在の人口88,141人をもとに算出)



(平成19年1月1日現在の人口88,141人をもとに算出)

合併による国・県の支援および経費縮減状況

(平成18年度と平成19年度の当初予算比較)

歳入

事業名	支援額	合併支援
合併市町村補助金	5,400万円	国からの補助金
ふさのくに合併支援交付金	1億4,000万円	県からの交付金
地方交付税	4億1,597万4千円	住民サービスの水準調整等の措置
合併特例債	12億8,190万円	元利償還金の70%が地方交付税で措置
合計	18億9,187万4千円	

歳出

事業名	削減額	合併効果
議員報酬および活動費	△1億5,547万6千円	議員数の削減
特別職および一般職員人件費	△2億3,365万円	区長および職員数の削減
一般事務費	△1,150万8千円	消耗品・印刷製本費・郵送料の削減
農業委員会事務運営費	△849万2千円	農業委員数の削減
合計	△4億912万6千円	

予算規模

区分	平成19年度当初予算額	対前年度増減額	増減率
一般会計	268億7,000万円	7億5,000万円	2.9%
特別会計	236億2,098万5千円	8億4,781万9千円	3.7%
公営企業会計	35億3,683万3千円	△3億8,323万3千円	△9.8%
合計	540億2,781万8千円	12億1,458万6千円	2.3%

一般会計および特別会計

会計区分	平成19年度当初予算額	対前年度増減額	増減率	
一般会計	268億7,000万円	7億5,000万円	2.9%	
特別会計	国民健康保険事業	95億9,800万円	9億3,344万9千円	10.8%
	老人保健事業	80億1,500万円	2億4,863万6千円	3.2%
	介護保険事業	37億3,400万円	△1億6,345万2千円	△4.2%
	居宅介護サービス事業	1億2,450万円	550万円	4.6%
	農村地域工業等導入促進事業	35万円	△355万2千円	△91.0%
	農業集落排水事業	1億8,300万円	△5,795万円	△24.1%
	観光事業	8,500万円	△1,100万円	△11.5%
	下水道事業	18億600万円	△1億1,202万1千円	△5.8%
	土地取得事業	2,013万5千円	△35万5千円	△1.7%
	火葬場事業	5,500万円	856万4千円	18.4%
小計	236億2,098万5千円	8億4,781万9千円	3.7%	
総計	504億9,098万5千円	15億9,781万9千円	3.3%	

公営企業会計

会計区分	平成19年度当初予算額	対前年度増減額	増減率	
水道事業会計	収入	24億9,319万4千円	△4億2,612万7千円	△14.6%
	支出	33億2,589万3千円	△4億1,375万9千円	△11.1%
簡易水道事業会計	収入	1億4,356万6千円	2,727万4千円	23.5%
	支出	2億1,094万円	3,052万6千円	16.9%

平成19年度予算の主な重点施策事業

農業の振興

- 【農道整備事業】 1億1,210万7千円
生活環境基盤などの整備を通じて活力ある農村地域を形成する
- 【農地・水・環境保全向上対策事業(市内1186ha)】 1,319万1千円
農地・農業用水などの資源を適切に保全する団体を支援する
- 【特定農業用管路等特別対策事業(香北土地改良区)】 2,100万円
石綿セメント管の用水路を代替して農業経営の安定と安全を図る

健康と福祉のまちづくり

少子化対策

- 【子育て支援費給付事業】 984万円
不妊治療費の補助や特定疾患見舞金および第3子以降の1歳未満児への支援費を支給する

障害者対策

- 【障害者福祉対策事業】 2億684万4千円
障害者に手当給付などの在宅サービスを実施し、経済的負担の軽減で健康の保持、生活の安定を図る
- 【地域生活支援事業】 5,669万8千円
相談支援、コミュニケーション支援、日常生活用具給付、移動支援、地域活動センター機能強化などを実施する

いじめ・不登校対策

- 【ふれあい教室運営費】 323万3千円
子ども電話相談「市ホットダイヤル」の設置および不登校児童対策のふれあいステーションを新設する

緊急応急対策

- 【自動体外式除細動器(AED)購入費】 116万6千円
AEDを人々が集まる施設に設置し、救急時に備える
- 【アスベスト対策工事】 3,496万6千円
小見川西小・小見川北小・八都小・山倉小・小見川中柔剣道場・小見川B&G海洋センター・市民体育館のアスベスト対策を講じる

義務教育施設の改修

- 【義務教育施設耐震改修事業】 4億5,646万1千円
佐原中学校舎・小見川中学校舎・山田中学校舎の耐震改修を行う



小見川中学校校舎



山田中学校校舎

防災体制の確立

- 【防災行政無線統合事業】 2億1,029万3千円
災害時緊急連絡体制充実・強化のため防災行政無線システムの統合を実施する
- 【安全安心の川づくり事業】 3,109万4千円
草林水門改修・河川改修を行う
- 【新浜排水施設整備事業】 4,000万5千円
豪雨時の道路冠水および家屋浸水被害を解消するための施設整備を行う

新市基盤の確立

計画策定

- 【総合計画策定事業】 678万8千円
長期的な展望の下で総合的かつ計画的なまちづくりを進めるための指針となる計画策定を進める
- 【環境基本計画策定事業】 400万円
- 【地球温暖化対策実行計画策定事業】 105万円
地域環境保全施策の基本とするため新市環境基本計画および地球温暖化防止対策実行計画書を作成する

都市整備

- 【東関戸踏切道路改良事業】 2,573万4千円
踏切を拡幅し歩車道の分離を行う
- 【市道山田I-10号線改良事業】 4,000万円
通学路の安全および地域間交通の利便を図るため道路の改良を行う
- 【市道I-2号線橋りょう改良事業】 1億2,069万8千円
栗山川に架かる橋が狭く老朽化したため架け替えを行う



東関戸踏切



市道I-2号線橋りょう

商工業振興

- 【中小企業資金融資事業】 1億3,169万2千円
中小企業経営の安定を図るため、低利融資の実施および利子保証料の補給を行う

観光振興

- 【佐原駅周辺整備事業】 782万9千円
駅舎に合築する観光交流センターの基本設計を行う
- 【広域交流拠点整備事業】 3,205万7千円
広域交流拠点施設整備のための事業を推進する